

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		公害対策事業費 [公害対策事業]									
予算科目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	8	公害対策費	事業番号	1
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名		環境対策(環境) 課				環境公害 係		課長名		梶川 義夫	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		4 - 8	
【施策名】 環境の保全								総合計画書 (ページ)		99	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市民の数					各年度4月1日時点の住民の数					
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
市民が快適に暮らせる環境が実現された状態					市民意識調査における「環境の保全」に関する市民の「満足」の回答率が高い状態。(「非常に満足」と「満足」の割合が過半数以上であること。)						
→											
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、悪臭等の苦情相談の受付					苦情相談受付件数						
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294					
	成果指標	②の数値	%	17.1	17.2	16.5					
	目 標	②の目標値	%未満	50	50	50					
		目標値設定の考え方 最低でも市民の過半数が環境の保全に満足を感じている状態を目標とする。									
活動指標	③の数値	事業	109	118	140						
3 経費	事業費(実績)		円	27,025,831	4,958,125	5,164,120	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,250,000円 時間単価は、 4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	2,156,831	638,125	1,013,120					
		特定財源(国・都・他)	円	24,869,000	4,320,000	4,151,000					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.8	0.8	0.8					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	6,704,000	6,704,000	6,600,000					
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費+人件費		円	33,729,831	11,662,125	11,764,120						
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度								
	(2) 環境の変化 高度経済成長に伴う著しい産業公害や、生活環境における公害の顕著化に伴い、昭和44年には都において東京都公害防止条例が制定された。より多様化する公害問題等に対応するべく、平成12年に都民の健康と安全を確保する環境に関する条例が制定され、平成16年には市へ権限移譲がなされ、市が多くの場合に主体となって様々な環境問題に対応していくこととなった。近年では工場や作業場を起因とする事業公害はもちろんのこと、近隣の住民同士での騒音や悪臭等の公害も頻繁に発生するなど、多種多様な公害の発生と、それに伴う対策が求められている状況である。										

事業名称	公害対策事業費 [公害対策事業]			
担当部署・課長名	環境対策(環境)	課	環境公害	係 課長名 梶川 義夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・苦情があり、職員が何度も現地確認をし、問題ないと判断したと伝えても、理解していただけない市民もいた。 ・苦情について話をすることで、改善してくれる方もいた。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑦、⑧（「水質等分析調査」にて市民が保有している井戸水の水質を測定する。）		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 様々な公害苦情がある中で、市民の方々の近隣への配慮や問題意識の理解が必要であるとする。			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 令和2年6月に大気汚染防止法が改正され、石綿(アスベスト)飛散防止対策が令和3年度から強化される。今後増加が見込まれる業務に現在の職員で対応することは難しく、課題である。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 人員増を要望した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 大気汚染防止法の改正に伴い、石綿（アスベスト）の現地調査が増加するため、人員の確保や石綿事前調査報告システムへの対応が課題。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 環境の保全 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 様々な分野の事業を複数行っているが、「市民が快適に暮らせる環境」を実現するため、限られた人員等の中で効率的な事業を実施していく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	石綿（アスベスト）の現地調査については、多くの時間と労力が必要となる可能性があるため、効率化を図れるような体制を整える。			